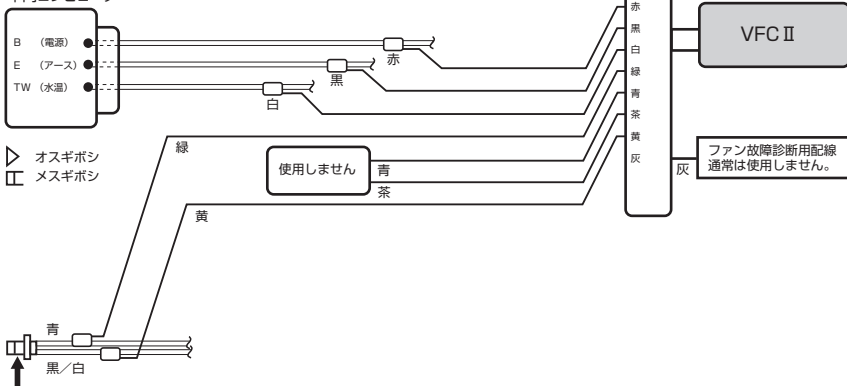
取付に際して（イグニッションON時は、絶対にカプラーの抜き差しをしないで下さい。）

《取付方法》

1. エンジンを停止させ、取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取外して下さい。
2. ECU端子図は、P11以降の車種別図面を確認して下さい。
3. ECU端子図が正しいことを確認する為、サーキットテスターにて各部電圧チェックを行います。
   B−E間電圧：12V〜14V　TW−E間電圧：0.2〜2V（暖気時）
4. 下記取付図を参考に、本体取付を行って下さい。
5. 取付が完了したら、「初期設定」の頁を参考に設定を行って下さい。

配線方法 7	SUZUKI	CN21S（F6A型 H2/3〜）　EA11R　PG6SA

水温スイッチへの接続　サーモケース上　2Pカプラー（青と黒／白線）
エンジンルームへの配線がございます。必ず絶縁・防水処理を行って下さい。

【本体とハーネスの接続及び、固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカプラーを差し込んで下さい。
- P1・P2を参考に初期設定を行い、作動チェックを行って下さい。
- 本体・配線は、運転動作の妨げとならない様に両面テープ・束線バンド等にてしっかり固定して下さい。
  ※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所に配置すると、思わぬトラブルを引き起こす危険性があります。
- 固定が完了したら、再びエンジンをかけて本体の作動チェックを行って下さい。
- 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の頁をご参照下さい。